

私の町の見守り合い活動

～きっかけは自分の健康 いつしか“つながり”に～



▲生き粹クラブ見守りメンバー

笑いがあふれた居場所づくり

亀山学区安食中町自治会のボランティアグループ「生き粹クラブ」では、月に2回、金龜体操やゲーム、茶話会などを開き、地域の居場所づくりに取り組んであられます。

一人暮らし世帯が増えることが目に見えている状況の中、地域住民が顔の見える関係をつくり、いざという時に声を掛け合い、助け合える地域づくりを目指されています。



▲笑いヨガでストレス発散



▲茶話会で団らん中

モットーは垣根を越えて

意識しておられるのは、お客様とスタッフという感覚をなくすこと。年代関係なく、それぞれが意欲的に“イキイキ”と参加されていることがあります。初めは自分の健康維持のためと始めた活動が、今では地域のつながりが着実に広がっています。

男性の参加が少ないのが課題で、男性会を開いたら面白いかもとの意見も・・・

すすめよう!!

おたがいさんの見守り合い

福祉センターによる見守り訪問

安食中町では、「福祉センター制度」が設けられており、各班に1人のセンターを設置しています。「大切なことは顔と顔を合わせること」現在、9名（女性6名、男性3名）のセンターが見守り訪問などの活動を行い、ただ安否を確認するのではなく、なにげない会話や普段の様子をさりげなくうかがうことでも見守りを行っています。

見守り会議で“福祉力”アップ！

「生き糀クラブ」では月に一回、サロン終わりに見守り会議を開かれます。見守り会議では、サロンの中で見えてきた課題や、住民の変化、今後の活動の進め方等について話し合われています。「〇〇さん最近見ないね」「それぞれが隣の人を誘ってくれるようにな



▲見守り会議風景

った」など、内容はざっくばらん。雰囲気も和やかです。

活動者に加え、民生委員、福祉委員、自治会役員、地域包括支援センター、市社会福祉協議会が参加することで、サロンについての話し合いだけでなく、地域全体の課題や方向性を話し合うことができ、その自治会の「福祉力」を高めていくことがあります。

皆さんの地域でも「見守り合い活動」を始めてみませんか？

活動を通じて、住民の変化が見えてきた。

住民自身の意識も変わっている。

事の発端は介護予防。自分から地域の互助につながっていくと感じる。
(自治会役員)



▲生き糀クラブ
代表の田中さん

出前講座 一おたがいさんの見守り合いー

地域での見守り合い活動を始めたけど「何から始めればいいの？」
「そもそも見守り合いってどういうこと？」など、活動のポイントや進め方と一緒に考えるための「出前講座」を受付しています。自治会や老人会、ボランティアグループ、事業所など、ぜひお気軽にご相談ください。



◀見守り合いハンドブックvol.2
おたがいさんセンターの皆さん
の意見をもとに作成しました。本会
ホームページからもダウンロードでき
ます。

見守り合い活動推進助成金概要

申請期間 H30.4.1～H31.2.28

①見守り合い活動推進費

上限5万円（1回のみ）

※分割での申請も可能です。

- ・サロン・見守り訪問
- ・移動支援（買い物同行）等

見守り合い活動の推進に直接要する経費

- 消耗品費：周知チラシ用紙代等
- 印刷製本費：周知チラシ印刷代等
- 備品費：机、イス、パソコン、ビブス
- 設置工事費：会場のトイレの洋式化



②見守り会議

一度の開催につき2千円

※助成は月に1回を上限

開催頻度は、

3ヶ月に1回は行うこと

各種団体との情報共有・連携

自治会長、福祉委員、民生委員、ボランティア、地域包括支援センター、市社協などが集まり、普段の見守り合い活動をふりかえり「話し合う場」です。「最近気になることがあって…」「声かけをするようにしましょうか」などと見守りの充実にもつながっています。

【担当】地域福祉課地域サポート係 TEL：22-2821 FAX：22-2841